

第 15 回全国中学生英語ディベート大会 実施要項

All Japan Junior High School English Debate Tournament

2025/07/07

1. 主催 全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA) 普及委員会
2. 大会意義
 - 1 社会的意義
中学生にディベートを通して、議論の力と英語の力を育む機会を提供する。
 - 2 Make Friends の実践
全国の中学生とディベートをすることで、新しい友達と出会えるきっかけとする。
 - 3 英語ディベートの知識・技術の向上
中学生に、英語ディベートへの入門として、高校生英語ディベート大会のフォーマットを時間短縮したもので、ディベートを経験させる。大会参加により、効果的なスピーチの仕方、アタック方法、ディフェンスのポイント、サマリのまとめ方など、気がつかなかった視点を数多く習得できるチャンスとしたい。
3. 会場 オンライン (zoom を予定) による試合とする。
4. チーム構成 1校1チームとする。1チームあたり4名から8名。なお、急な病欠等の場合は、3名での出場を認める場合がある。
試合への出場は4名で行い(4名以上で登録のチームは4名で試合に出場すること。)試合ごとにメンバーの入れ替えは可能。なお、チーム内の帰国子女や長期留学者等の人数は制限しない。
5. 論題 Resolved: The Japanese government should abolish the extracurricular club activity system in all junior high and high schools.
日本政府は中学校高等学校の部活動制度を廃止すべきである。
<論題定義:すべてのディベートはこの定義に沿って行います。定義に対する反論等はできません。>
 1. "Abolition" means that schools are completely uninvolved in the management and supervision of extracurricular activities.
「廃止」とは、学校が部活動の運営や指導に一切関与しないことを意味する。
 2. This "abolition" does not extend to banning activities led by the local community outside the school setting.
この「廃止」には、学校外において地域が主体となって行う活動などを禁止することは含まれない。
 3. In this activity, it is possible for the school to make its school buildings available as a place.
この活動において、学校が場所として校舎を貸し出すことは可能である。
6. 日程 2025年9月28日(日) *時程の詳細は、今後、調整することがある。

9:00 ~	Zoom 入室可能
9:15 ~9:25	出欠確認 (各校代表者は出席の確認を受けてください。)
9:25 ~9:45	開会式 ルールの確認等
10:00 ~ 10:55	第1試合
11:10 ~ 12:05	第2試合
12:05 ~ 13:20	昼食
13:20 ~ 14:15	第3試合 ※昨年度より即興型ディベートはなくなり、すべて準備型ディベートでの試合となります。
14:30 ~ 15:25	第4試合
16:00 ~ 16:50	決勝戦

16:50 ~ 17:15 表彰式・閉会式

7. 競技規則 競技は高校生英語ディベート大会規則による。HENDA（全国高校英語ディベート連盟）のホームページ参照。ただし、本要綱に書かれている事項は、本要綱を優先する。具体的には、試合時間、参加条件、チーム構成等に注意してほしい。

なお、昨年度より、発言時間、メリット/デメリットの個数、および第3試合の形式について、大幅な変更があるため、よく確認をすること。

なお、第1試合は実行委員会による抽選にて組み合わせを決定する。第2試合以降はパワーペアリングで組み合わせを決定する。

8. 参加費 1チーム4,000円（本大会の運営費として）

※予定 後日変更の可能性があります。その際は、申し込み校にメールでご連絡いたします。

9. 賞 チーム賞：1位から3位（予定）

個人賞：Excellent Debater Prize 複数名、Best Speaker Prize 役割別に各1名ずつ（予定）

10. 発言の場所と発言の順序

A：肯定側 N：否定側

発 言 者		役 割 と 内 容	時 間
3人の場合	4人の場合		
A1	A1	1 肯定側立論（メリットは1点まで出せる）	2分
		準備時間	1分
N2→A1	N4→A1	2 否定側質疑（否定側からの質問に、肯定側A1が答える）	2分
N1	N1	3 否定側立論（デメリットは1点まで出せる）	2分
		準備時間	1分
A2→N1	A4→N1	4 肯定側質疑（肯定側からの質問に、否定側N1が答える）	2分
		準備時間	2分
N2	N2	5 否定側アタック（肯定側の立論のみに対して）	1.5分
A3→N2	A3→N2	6 そのアタックへの質問（肯定側A3からの質問に否定側N2が答える）	2分
A2	A2	7 肯定側アタック（否定側の立論のみに対して）	1.5分
N3→A2	N3→A2	8 そのアタックへの質問（否定側N3からの質問に肯定側A2が答える）	2分
		準備時間	2分
A3	A3	9 肯定側ディフェンス（アタックを受けた立論を再構築する）	1.5分
N3	N3	10 否定側ディフェンス（アタックを受けた立論を再構築する）	1.5分
		準備時間	2分
A1	A4	11 肯定側総括（双方の議論を比較し総括する）	1.5分
N1	N4	12 否定側総括（双方の議論を比較し総括する）	1.5分

1 1. 問合せ先 全国中学生英語ディベート大会 運営担当 山根 雅広

メールアドレス：m-yamane[]shinagawajoshi.ed.jp

※スパムメール防止のため、[]を@に替えて送信してください。

代表 TEL 03-3474-4048 (品川女子学院)

※できる限り電子メールにてご連絡ください

- ## 1 2. 補足事項
- ・すべての申し込み校に、運営作成のモデル立論およびモデル反論をお送りします。こちらは、大会本番でもご自由に使用いただけます。
 - ・補足事項が生じた場合は、メールにてお知らせします。
 - ・大会に関する直前・当日の連絡は LINE Open Chat を使用して行います。

1 3. 参加条件

13-1.日本に所在地がある中学校（あるいは中学校に対応する中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒であること。

13-2.試合当日に zoom、LINE オープンチャット、Google ドライブに、選手のうち最低1名以上※、引率者、帯同ジャッジが、それぞれアクセスできること。

※学校の方針等で生徒がスマホを使用できない場合は個別にメールにてお問合せください。

13-3.帯同ジャッジを1名以上出していただけること。予選全4試合を通してジャッジ可能であること。

1 4. 参加申込み

申込フォーム (<https://forms.gle/8nRsYYvDoDwNfdVh6>) より 8月31日(日) 23:59までにお申込みください。

最大受け入れ可能チーム数は、運営の都合上36校とします。先着順で受付を行います。

なお、同日に送信されたものは、同時に送信したと扱います。

なお、特に §13 記載の参加条件に関する情報の変更をご連絡いただけていない場合、大会当日でもご参加をお断りする場合があります。

選手登録、また大会参加費の扱いについては、参加チームが確定次第、後日お知らせをいたします。

1 5. 合同練習会について

大会前に、希望校を対象に合同練習会を行います。肯定側・否定側それぞれ1回ずつ試合を行い、試合の流れや議論を行う練習をします。初めてご参加いただく方向けに、モデル立論も用意しますので、お気軽にご参加ください。

日時：8月6日(水) 9:00~12:00 オンライン(Zoom)形式にて開催

※詳細は別途配信の「練習会要項」をご参照ください。